

家庭から出るごみの処理

私たちが日常、生活する上で必ず考えなければならない問題があります。
その1つが、毎日排出される「ごみ」の問題です。

環境対策課環境対策係 ☎028(677)6041

近年、地球温暖化による気候変動の影響は、全世界におよんでいます。大規模な台風の発生、集中豪雨による浸水被害、そして、干ばつや熱中症リスクの増加など、今後さらに深刻化することが予想されています。地球温暖化を少しでも鈍化させるには、今、できることに取り組む必要があります。



▲河川の氾濫

▲大型台風の発生

▲氷河の減少

動向

国では、2020年10月内閣が我が国における2050年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言し、地球温暖化対策に関するさまざまな法律等を改正しました。そして、2050年までに温室効果ガスを80%削減する長期目標を掲げました。

栃木県では国の動向を受け、2020年12月に福田知事が県議会においてカーボンニュートラル実現を目指すことを宣言しています。2022年度には、具体的な施策を盛り込んだ「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けた条例(案)」を制定する準備に入り、2023年3月に県議会を経て、条例の実行を目指しています。

カーボンニュートラルとは？

日常生活や経済活動で排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの量と、森林や植物が吸収する量を比較して、その差をゼロにすること。

《何も対策をしない場合》

21世紀末には、平均気温が今より4度上昇したり、35度以上になったりする日が多くなってしまいます。

取り組みの一つ

県の条例(案)の中で、我々住民の努力義務として「脱炭素型ライフスタイル」への転換に向けた取り組みが示されています。

〈基本的な取り組み〉

- ・ エネルギー使用量の把握および抑制
- ・ COOL CHOICE とちぎの推進
- ・ 住宅への省エネルギー、再生可能なエネルギー設備の導入
- ・ 公共交通機関の積極的利用、電動車等の優先的利用 など



〈資源循環の推進等〉

- ・ 資源循環の推進
- ・ 再生可能資源を使用した製品の積極的な活用、廃棄物発生抑制
- ・ フロン類の拡散防止 など

〈森林・緑化の推進〉

- ・ とちぎ材の積極的利用と緑化の推進
- ・ 森林保全活動への協力 など

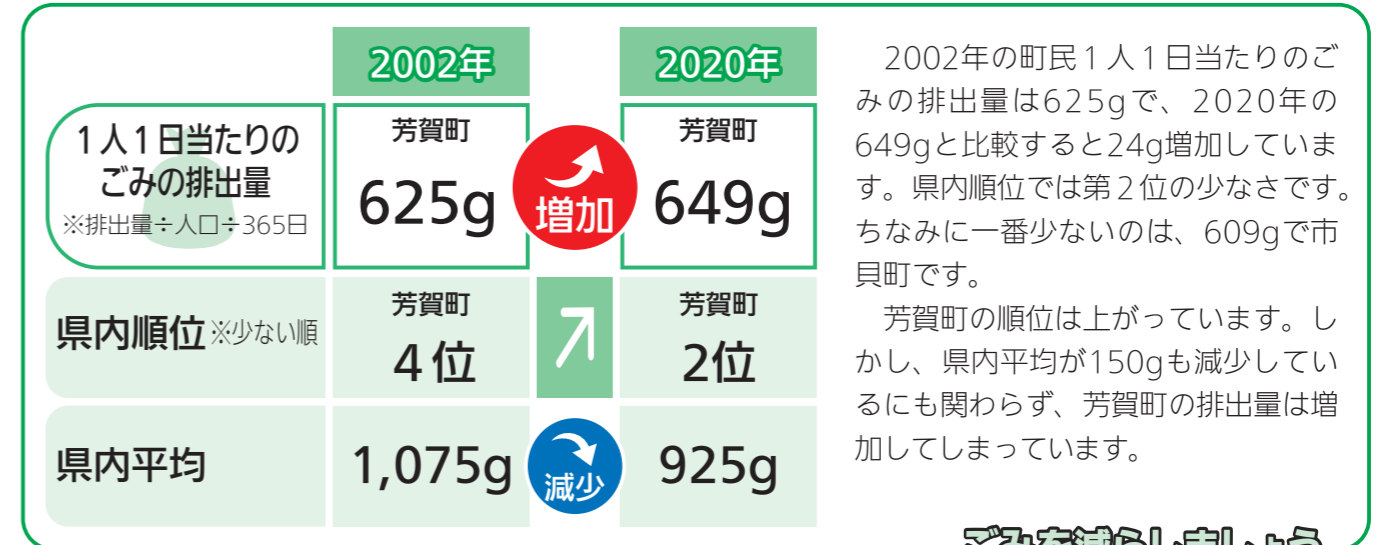


今できることの一つとして、現在の資源循環の推進についてお知らせします

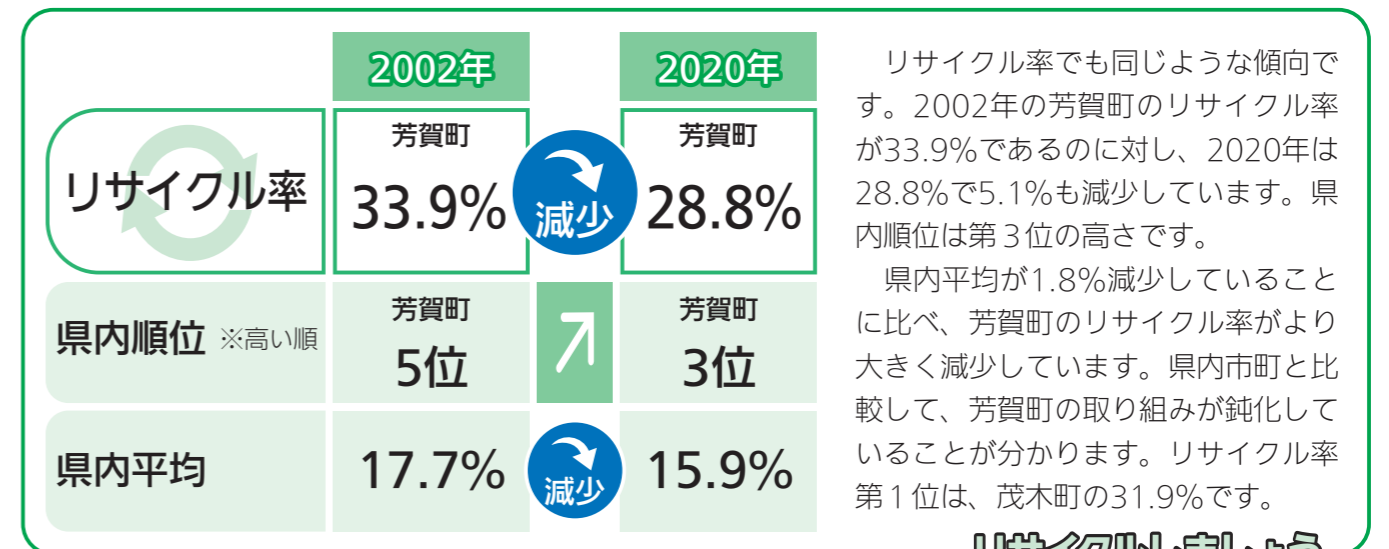
2050

芳賀町のごみ処理の状況

2002年と2020年のごみ処理の状況を比較してみましょう。



ごみを減らしましょう



リサイクルしましょう

まとめ

芳賀町にお住まいの皆さんは、ごみの減量やリサイクルへの取り組みに高い関心を持っています。20年前に「循環型社会 環の町芳賀」としてさまざまな仕組みを開始して以来、ごみの減量化とリサイクル率の向上を実践していただいています。

それらの取り組みをさらに進め、世界に拡大している「カーボンニュートラル実現」に向けた、資源循環の推進、つまり、今からできるごみの減量化とリサイクル率の向上をより一層進めていく必要があります。

今後、芳賀町においては、国や県、他市町の動向を注視し、ごみの減量化やリサイクル率の向上を図り、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、実践者である住民の皆さんからのご意見を伺いながら、具体的な数値目標とその数値目標を達成すべき具体的な仕組みを構築していきたいと考えています。

